

## 建設廃棄物の処理に関する特記仕様書

- 建設廃棄物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び島根県建設副産物処理要領に基づいて行うこと。
- 建設廃棄物の処理を委託する場合は、建設廃棄物処理法の許可を得た業者に委託するか、個別指定を受けて適切に処理すること。この場合は、書面で委託契約を締結し、工事完成時に委託契約書を提示すること。
- 建設廃棄物が適正に処理されたことを産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより確認し、処理完了後にD票及びE票、または電子マニフェストから印刷した受渡確認票（J W N E T のロゴマーク付き）を提示すること。  
また、マニフェストをもとに種類毎の処理量の集計表（様式は問わない）を作成し、提出すること。
- 受注者が自ら処理する場合は、処理前後を対比して処理数量及び処理状況が確認できる図面、写真等の資料を提出すること。
- 建設廃棄物の処理について、管轄の保健所と協議した場合はその資料の写しを提出すること。
- 本工事の施工に伴い発生した建設廃棄物は、以下により処理すること。

### （１）コンクリート塊

コンクリート塊の工事現場からの搬出については、工事現場から直線で半径 2 0 キロメートルの範囲内の再資源化施設に原則搬出すること。

### （２）アスファルト・コンクリート塊

アスファルト・コンクリート塊の工事現場からの搬出については、工事現場から直線で半径 4 0 キロメートルの範囲内の再資源化施設に原則搬出すること。

なお、再生アスファルト骨材用受入施設は、島根県ホームページの「しまね再資源化施設情報検索システム」（<http://web-gis.pref.shimane.lg.jp/Recycle/>）において「A s コンクリート塊（再生A s 骨材用）」として登録されているので確認すること。

- 本工事の施工に伴い発生する建設廃棄物は、下表に示す処理施設への搬出を計画している。

なお、次表は積算上の条件明示であり、明示する処理施設での受け入れが困難となった場合などにより、明示する施設と異なる施設へ搬出せざるを得ないなどの場合は設計変更の対象とする。但し、受注者の責による場合はこの限りではない。

また、アスファルト・コンクリート塊の搬出先について、上記 6 （１）の条件を満たさない施設を選定する場合には、監督員と協議すること。

### 廃棄物処理施設

建設副産物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	建設発生木材	建設汚泥 (中間処理～最終処分)	その他 ( )
①受入れ場所	(有)鎌田組	(有)鎌田組			
②受入れ時間帯	8時00分～ 17時00分迄	8時00分～ 17時00分迄	時 分～ 時 分迄	時 分～ 時 分迄	時 分～ 時 分迄
③受け入れ費用	受け入れ費用については、平日を見込んでいる。				
④仮置き等					
⑤受け入れ条件	最大粒径 cm程度	最大粒径 cm程度			
備考					